

王子ヶ浜小学校  
学校だより第13号

# 王子ヶ浜

平成31年1月10日（木）

〒647-0031 和歌山県新宮市田鶴原町 2-10-1

TEL:0735-22-8431 校長 山本眞也

晴天の中で新年を迎えました。いよいよ最終学期です。1月に行く、2月は逃げる、3月は去る・・・と特に時間の経つのが速く感じられる時期です。スタートから気合いを入れていきたいと思っています。

■新年、明けましておめでとうございます。

「何となく、今年はいい事あるごとし。元旦の朝、晴れて風無し」（石川啄木）

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

今年は「亥（いのしし）年」です。亥（いのしし）は「猪突猛進」の言葉通り、獲物に向かって猛烈な勢いで突き進む動物です。そこから「目的に向かって一心に取り組む年」と位置付ける方がおられます。一方で「亥（いのしし）年」は子（ねずみ）、丑（うし）から始まる十二支の最後の年。それは同時に次の新しい十二支が始まることを意味するので、「新たな始まりへの準備、エネルギーを蓄える年」とする方もおられます。どちらの年にするかはその人次第、「目標に向かって一心にがんばる」もよし、「次のチャンスに向かってしっかり準備する」のもよし、そのような年になるようにそれぞれがんばってもらいたいと思います。

職員一同しっかり支援する所存です。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

■日頃使っている言葉を振り返ろう。

過日の校長会で、市民の方から『ある体育館のトイレに“身障者用便所”と書かれたプレートが貼られている。「身障者という表現は問題ないのだろうか」との意見があった』との報告がありました。学校でも「障害のある子ども（児童）」を「害児（ガイジ）」と省略表現した言葉が人権に関わるとして問題となりましたが、改めて日頃使っている言葉について振り返る必要を痛感しました。

交通手段がないことを「足がない」と表現したり、返事のしない子どもに「口がないんか」と叱ったりすることがありました。体を使った表現の全てが問題なのではありませんが、気を付ける必要があります。

30年前、あるバラエティー番組で某男優が扮した「保毛尾田 保毛男（ほもおだ ほもお）」という男性の同性愛者を風刺したキャラクターが笑いを呼びました。その30周年記念番組が一昨年9月に放映され、同じキャラクターが今回は厳しい批判を受けました。30年前と今とでは人権に関する基準が上がっている、人権に関する感度が高くなっているのです。これから東京オリンピックを控え、世界レベルに合わせて人権の基準がぐっと上がると言われています。大人の対応が子どもの見本となります。

職員会議でも改めて注意喚起をしました。保護者の皆さまにもよろしくお願い致します。

■3学期の主な行事（今、決まっていることのみ）

1月25日（金）：新宮市教育研究会委託研究発表会 13：20～ 本校

※公開授業をする学級以外は給食終了後下校

2月14日（木）：授業参観（2年生）

2月15日（金）：授業参観（3、4、5、6年生）

2月19日（火）：授業参観（1年生）